

## 3中学校で 生徒の代表と 栗山市長が意見交換

### 金光中学校の生徒代表と 和やかに

9月27日(月)、栗山康彦市長と中野留美教育長が、金光中学校を訪問して、代表生徒と懇談しました。

これは、浅口市の未来を担う生徒たちに、行政の仕組み等を市長自ら説明して、市政への関心を持ってもらうことと、中学生の様々な要望を聞いたり意見交換したりすることで、今後の浅口市政に活かす取組です。平成27年度から続いています。

初めのうちは緊張していた金光中学校の生徒たち(生徒会本部役員7名)も、栗山市長が選挙への参加の重要性について熱く語られる様子に、次第に引き込まれていきました。そして、中学生たちは、「金光町を盛り上げるために、SNSを活用して積極的にアピールしてほしい。」とか「花火大会をテレビで放送してほしい。」等、積極的に発言していました。

最後に栗山市長から、「みんなが住みやすい町を作っていくので、万一市外に出ることになっても、浅口市に必ず帰ってきてほしい。」と言われました。

金光中学校の生徒会役員や木村校長先生方と[R3.9.27(月)]



### キラリ3 [子どもたちの活動のキラリ]



行政の仕組みや重点施策を説明する栗山市長[R3.9.29(水)]



鴨方中学校の生徒会役員や村下校長先生方と[R3.9.29(水)]



寄島中学校の生徒会役員や原田校長先生方と[R3.10.4(月)]

### 鴨方中や寄島中でも 生徒代表と懇談

栗山市長と中野教育長は、9月29日(水)、鴨方中学校を訪問し、生徒会本部役員7名と意見交換しました。10月4日(月)には、寄島中学校で代表の5人と懇談しました。生徒たちは、学校施設や公共施設の改修をお願いしたり、栗山市長がどんな気持ちで市長になったのかをたずねたりしていました。市長は、生徒一人一人の発言をしっかり受け止めて、回答するとともに、生徒たちに目標をもって生きてほしいとエールを送っていました。生徒たちのアイディアの中から、来年度以後の浅口市の施策に活かされるものが生まれてくるかもしれません。